

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和5年度第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和6年3月26日（火）
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：諸橋委員長、市川委員、椎野委員、原田委員、堀上委員、森本委員（計6名） 欠席者：南委員、大槻委員、鈴木委員、中村委員（計4名）
議 題	議題1 第3回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会会議録について 議題2 武蔵村山市におけるパートナーシップ制度について 議題3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 について： 承認する。 議題2 について： パートナーシップ制度については、東京都パートナーシップ宣誓制度の活用により対応できると考えられるため、現在のところ市独自の制度は設けない方針とする。また、これまでどおり市としてLGBTQ関連情報を積極的に啓発するとともに、東京都パートナーシップ宣誓制度の市内周知に努めることとする。 男女平等や男女共同に関する条例等については、男女平等・男女共同に必要な考え方の基本（軸）について検討を始めることとする。 議題3 について： 本委員会の委員の任期満了に伴い、事務局より謝辞を述べた。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発言者) ◎印：委員長 ●印：委員 □印：事務局	議題1 第3回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会会議録について □ 第3回会議録の確認と加筆修正等についての意見をお願いします。 ◎● 意見なし。 議題2 武蔵村山市におけるパートナーシップ制度について □ パートナーシップ制度及び男女平等や男女共同に関する条例等について、今年度の審議経過を踏まえ、本委員会における令和5年度末段階での考え方の案を資料2に整理した。意見の有無や修正すべき内容等について意見をお願いします。 ◎ パートナーシップ制度については、当面都の制度を利用するとともに、新たな事案が生じた場合は検討するということと、今後とも市としてSOGIの問題に関する啓発に努めるとともに、都の制度の周知に努めてほしい。 ● 今まではLGBTQの情報を目にするのが市報などではなかったが、今回の取組で、市報により多くの市民の目に届いたことと思う。誰にでもあるアンコンシャス・バイアスに一人でも多く気づくことができれば、今よりもっと「自分らしく」生きる市民が増えると思う。東京都のパートナーシップ宣誓制度も多くの方に知ってもらえたらと思う。 ● LGBTQについては、とても個人的なことを考えると、「市独自」についてはまだ検討の必要があると感じる。 「男女平等」については、さらに啓発活動を進めていく必要があると思う。 議題3 その他 □ 今年度末をもって、現武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会委員の任

	<p>期が満了となる。2年間のお力添えに感謝申し上げます。</p> <p>◎ 女男平等については、多摩地区の条例も数多くできていることから、次期市民懇談会で検討していきたい。</p> <p>● 「自分らしく」大いに賛成である。</p> <p>● 今回の会議に参加させていただき、自分自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、また多くの知識により得ることがあった。バイアスのかかった頭のままでは、本質は見えてこないというところに議論の難しさを感じる。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等:) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等:)
--------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線: 242)
-------	-----------------------

(日本工業規格A列4番)